

おさんぽマップ

植物園には、様々な植物といっしょに普段目にしない虫たちも生活しています。緑豊かな証拠ですね。植物観賞とあわせて虫も観察すると楽しいですよ。

たくさんの実がゆらゆら揺れて可愛い

①エゴノキ【エゴノキ科】

春（5～6月）、下向きに白い花が咲き、夏には直径約1cm程度の卵型で、アメ玉のようなかわいらしい実が枝からぶらさがっています。



実がえぐくて食べられないことから「エゴノキ」の名が付けました。若い実には有毒の「エゴサポニン」が含まれ、すりつぶして水にとかすと泡立ち、石けんの変わりとして使われていました。

古くから親しまれてきた万葉植物の一つです。

真夏の暑さを爽やかに♪

②ギンドロ【ヤナギ科】

ポプラの仲間、裏にびっしりと白銀色の毛が生えます。

夏の太陽の下、風にゆらゆら揺れる葉はキラキラと輝き、とても綺麗です。背の高い木なので遠くからでも目立ちます。近づくとセミの鳴き声もすてきですよ。



葉の裏表のコントラストが美しい！

注目を集めている宿根草

③エキナセナ（ムラサキバレンギク）【キク科】

アメリカ原産の薬用植物であるエキナセアは、抗炎症作用があるとされ、アメリカでは最も人気の高いハーブのひとつです。花の中心部（花序）がクリのイガのように大きく盛り上がり、そのまわりに細長い花弁が放射状に広がります。くっきりした花形で存在感があり、花の観賞期間が長いので、夏花壇の彩りに重宝します。



花後も球状の形が長く残り、その姿も可愛らしいです。花が咲いているときも終わってからも楽しむことができる植物です。

切り花に利用され、ドライフラワーにもなります。



P	駐車場	AED	AED
P	身障者専用駐車場	授乳室	
🚲	駐輪場	東屋	
♿	トイレ	貸し傘	
♿	バリアフリートイレ		



夏の時期は池が賑やかになります。先月に引き続き見頃を迎えているスイレンをはじめ、ミズアオイ、ミソハギ、ガガブタなどの水辺の植物が彩ります！そして熱帯植物ドームの池で育ったパラグアイオニバスも園地の広い池でますます大きく育ちます。



濃いピンク色の花が目印



線香花火のような花がきれいだね



④サルズベリ【ミソハギ科】

花の色が鮮やか
樹皮は褐色で所々はがれると白くなり、まだら模様になります。サルでも滑ってしまいそうなほど、幹がすべすべしていることが名前の由来です。伸びた枝先に花芽ができるため、枝の成長にあわせて3ヶ月程花が見られることから「百日紅（ヒャクジツコウ）」とも呼ばれます。秋風が吹くころまでピンク色の花を次々咲かせハチを誘惑しています。